

委員会で取り組む「また来たいと思わせる図書館に向けての提言書」

戸田市議会 文教・建設常任委員会



取り組み概要とポイント

“人の集まる図書館”を委員会の年間活動テーマに掲げ、2年間をかけて図書館改革に取り組んだ。

活動の中で特に力を注いだ点は、「市民が抱く図書館のイメージを変える」ことであった。

従来の図書館のイメージである“静かに本を読み借りる場所”ではなく、“地域に親しまれ人が集う場所”“地域を支える知の拠点”としての図書館のあり方を市民に伝えるべく、図書館では初となるクリスマスイベントを2年続けて開催した。

委員会手作りのクリスマスイベントの中では、「また来たいと思わせる場のつくりかた」と題した花井裕一郎氏による講演会や、飲食・音が禁止されていた図書館ロビーでの市民コンサートとコーヒー販売、図書館司書と議員によるビブリオバトル、「みんなの声で変わる図書館」と題した委員会によるプレゼンを実施した。参加者からのアンケート結果は、「図書館のイメージが変わった」、「図書館の可能性を感じた」など、全てが肯定的なものであった。

また、夏休みには、「あなたが描く理想の図書館」という大きなボードを図書館に設置した。利用者からは2週間で373件もの意見が集まり、その半数近くは子供達からのものであったことに委員は感動を覚えた。意見の内容は、「図書館内にカフェを設置してほしい」、「親子などでくつろいで本を読めるスペースが欲しい」、「寝転がって本を読みたい」、「漫画を読みたい」など、委員会の目指す図書館像と一致するものでありこれが提言書作成に当たっての裏付けとなった。

図書館側との意識の共有も心掛けた。機会を見つけては委員会と図書館職員による意見交換を行い、その他にも、委員会の行政視察への同行やクリスマスイベントの共催など、図書館との協働が進むことによって、図書館職員や図書館司書との連携が可能となった。

行政視察については、それぞれの委員が全国の先進的な図書館に関する情報を集め、また視察先に受け入れてもらえるまで視察日程を組み直すなどの徹底を図り、視察・検証を繰り返していった。

提言書作成に当たり、図書館改革に向けたアイデアをポストイットに書き出し検証している様子。



夏休みに利用者から集められた意見をまとめ、委員会の取り組み状況をクリスマスイベントにおいて発表している様子。

視察で得た多くの知見や利用者から集まった意見、委員のアイデアをもとに作成したのが「また来たいと思わせる図書館に向けての提言書」である。精選した27の提言を、「短期」「中期」「長期」の3つの時間軸に分け、各提言に込められた「私たち大人が子供達に残してあげられるもの」という委員共通の想いが伝わるよう心掛けた。

提言書は、平成27年1月に執行部へ提出した。提言のうち、いくつかの提言は既に図書館に反映され、残る提言の多くについても前向きに検討が進められている。

今後については、提言の進捗確認・検証や図書館イベントのサポートなどを市民協働で行う「(仮称)図書館サポーターズクラブ」の設立に向けた規則作りを前委員で行っているほか、委員が入れ替わった現委員会においてもクリスマスイベントを開催しようと話し合いが進められている。

受賞メッセージ

当委員会が、図書館改革を着想してから、手作りのイベント開催や実効性のある図書館提言書の提出にまで至ることができたのは、多くの活動を共にする中で高められた委員会のチーム力によるものが大きいと考えています。

2年間の取り組みを経て、議員個人ではなく全会派が集う「委員会」の意見だからこそ、執行部に与える影響は大きいことを確信すると同時に、委員会が一丸となり市民や行政に共感を与え政策を実現していくことが、これからの地方創生の一翼を担うのではないかと意を強くしています。

今回の受賞が、全国の議会に対して「委員会」の可能性を提案するものになるのであれば、これに勝る喜びはありません。

また来たいと思わせる図書館 に向けての提言書

平成27年1月

戸田市議会 文教・建設常任委員会

▲「また来たいと思わせる図書館に向けての提言書」(全 24 頁):

「ものがたりレンビを給食に活用」などの短期提言、「玄関ホールの有効活用」などの中期提言、「こども図書室の設置」などの長期提言、合わせて27の提言を行っている。本提言書は、戸田市議会のHPに掲載。



▲クリスマスイベントでの市民演奏会:

子供達のハンドベル演奏、障害を抱えた女子生徒によるピアノ演奏、市民演奏家によるクリスマスメロディー演奏など、図書館に響き渡る音楽に多くの参加者が聴き入りました。



▲クリスマスイベントで開かれた講演会:

当委員会が図書館改革に着想するきっかけとなった『はなぼん』の著者花井裕一郎氏による講演「また来たいと思わせる場のつくりかた」を開催。



▲クリスマスイベントでのコーヒー販売:

福祉部の協力のもと、市内の福祉作業所によるコーヒーやクッキーの販売も行われました。図書館ロビーが、コーヒーの香り漂うコミュニティ空間に。



▲クリスマスイベントで開催されたビブリオバトル:

図書館司書がお気に入り本を紹介し、読みたくなった本に投票、チャンプ本を決定するビブリオバトル。当委員会の委員も発表者として参加しました。



▲「あなたが描く理想の図書館」:

夏休みの2週間、図書館ロビーに大きなボードを設置。利用者から集まった373件の意見をカテゴリーに分けて整理し、クリスマスイベントで発表。それぞれの意見に対する当委員会の対応状況を説明しました。